

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com 2009年5月号(No.105)

組版・製版のワークフローと入稿上の注意点②

-組版データ入稿上の注意点-

今回は、「組版・製版のワークフローと入稿上の注意点シリーズ」第2回として、「組版データ入稿上の注意点」についてお届けします。

■組版データ入稿上の基本的な注意点

(1) データ入稿時指示書に明記していただきたいこと

- OS は Mac と Windows のどちらか。またそのバージョンは何か
 - ★特に Windows は OS によって体裁に影響が出るので要注意です!
- 使用しているアプリケーションの種類とバージョン
 - メインソフトは何? (例: QuarkXPress 4.1 など)
 - 貼込みファイルは何? (例: Illustrator 8.0.1/Photoshop 7.0.1 など)
 - ★Illustrator はバージョンによって文字ツメなどが変わってしまいます!
- 使用しているフォント
 - OCF・NewCID・OpenType のいずれか(混在は危険です)
 - 特殊なフォントはアウトライン化してください
 - TrueType フォントは使用不可
 - 外字フォントを使用した場合は、そのフォント名を記入(例: Biblos)

(2) ここまでチェックできれば完璧です

更に入稿時の指定やデータに関して、[添付資料①](#)の内容までチェックしていただければ完璧な入稿となります。

■MS-Office 系データ入稿上の注意点

最近は図版データとしてだけでなく、組版データとしても MS-OFFICE 系の Word や PowerPoint などによるデータ入稿が増えています。その際、下記のような注意が必要となります。

(1) MS-Word でのトラブル事例とその対応策

「Word データをテキスト変換して組版したら、変更履歴が現れて元の原稿と違ってしまった」、「著者支給の Word データで Unicode 文字が使用され、校正中は問題が発生しなかったが、印刷用の最終出力でその文字が欠落してしまった」などのトラブルが当社でも発生しています。

トラブル発生の原因とその対応策については、[添付資料②](#)をご参照ください。

(2) MS-OFFICE 系のデータは全て RGB で作成されていますので注意が必要です

印刷用の CMYK データに変換すると、墨の部分も CMYK4 版分が作成されてしまいます。このような場合は、墨1色の部分を分版しないように変換し直して使用します。

また、カラーで作成された図やグラフをモノクロに変換すると、判別できなくなってしまう場合があります。モノクロコピーを取って見るとそのイメージがつかめず。

一見2色に見えるデータも実際には4色掛け合せのデータになっていますので、注意が必要です。

詳細は、[添付資料③](#)をご参照ください。

■メールでのデータ入稿上の注意点

受け取ったメールが文字化けしていたり、添付ファイルが開けなくなったりすることがあります。その原因と予防法は下記の通りです。

(1) 添付されてきたファイルが開けない

Mac(著者, デザイナー)→Windows(編集者, 印刷会社)と転送されてきた場合に、ファイルが開けないということがあります。

Mac は普通ファイル形式を示す拡張子を付けませんので、Windows で開こうとすると拡張子を判断できず、開くことができなくなります。

このような場合は、Mac ファイルにも拡張子を付けていただくか、メール本文中に作成したアプリケーション名とバージョンを記入していただければ、当社でも開くことができます。

なお、拡張子については、[添付資料④](#)「データの拡張子とファイルの開き方」をご参照ください。

(2) 本文中の一部が文字化けしている

このような場合は、本文中に丸中数字など機種依存文字が使用されていることが主な原因です。目安として記号を使うときは、キーボードから直接入力できないものは使わないようにするのが無難です。

また、「半角カナ」は文字コードの種類の違いで化けてしまうので、使用しないのが一般的になります。

(3) 添付ファイルが化け文字になっている

メールで画像データを送る場合は、テキストに変換(エンコード)し、受取るソフトでそれを元に戻しています(デコード)が、ソフトがそれに対応していないと、文字化けメールのようになってしまいます。

変換方法(設定)にはいくつかありますが、「MIME」で設定しておくのが一番無難のようです。

(4) 本文中にタグが入っている

これは HTML 形式でメールが送信された場合に起こります。HTML メールは大きさや色が指定できるなど便利ですが、受取る側の対応確認が取れている以外は、普通のテキスト形式で送信した方が賢明です。

詳細は[添付資料⑤](#)をご参照ください。

■ストレスのないスムーズな進行のために

入稿形態や環境は多種多様になってきました。ストレスのないスムーズな進行のためには、下記のような点も大事になります。

(1) 一般的でないソフトで作成された数式や CAD データなどは、変換してもイメージ通りに仕上がらない場合があります。このよう場合は、**事前にデータをテストさせていただく**ことにより、スムーズな進行が図れます。

(2) 見本組の完成度合いが、初校以降の赤字量ひいてはコストに大きく影響します。**見本組の段階で仕上がりイメージを固めておくことが重要です。**

(3) ワークフロー・環境の変化により、責了から下版までの時間が短くなっています。CTP ワークフローは、下版前のちょっとした修正でも再 RIP となるため、非常にコストのかかる作業になっています。スムーズな進行のためにも、**ゲラ段階での校了を目指してください。**

【発行】2009年5月28日 三美印刷株式会社経営企画室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-16-7 TEL : 03-3805-7675

URL : <http://www.sanbi.co.jp>

添付資料 : 入稿時ここまでチェックできれば完璧！

指定に関して

- すべての箇所に指定が入っている。指定はミリ指定やQ数指定とポイント指定を混在していない
- まえがきや索引など、本文以外に入るページには何があるかの情報を添えた
- 入稿から責了にいたるまでの大体のスケジュールが決まっている
- 図や写真を拡大縮小して入れる場合、大きさの指定をしている
- 用字用語統一のための一覧表を作成した。又はエクセルデータなどにしてある
- 責了後のデータの二次加工に関して、どういう用途で使用するためにどういうデータが欲しいかを明記した

データに関して

- テキストデータや写真のデータなどあるものと無いものを確認した
- 支給されたデータがWindowsとMACのどちらで作成されたものかわかっている
- どんな種類のアプリケーションで作られたデータなのかがわかっている
- データが使用できる状態にあることを確認した
- 2色の場合、色版を何色で作成するのかをデザイナーと印刷会社の両方で整合性をとっている
- ホームページから写真をとるように指示を入れた場合、その所在を確認してある
(ホームページからとった写真はほとんどの場合、72dpiの解像度しかありません)
- RGBデータをCMYKデータに変換する場合、変換の目安となる見本を添付した



デジタルカメラの普及に伴い、RGBデータでの入稿も増えてきました。変換に関しては、印刷会社に依頼するパターンが主流となっており、弊社でも対応しておりますが、実際の仕上がりのイメージが掴めない状態では、どのような変換をすればいいかが判断できません。
見本になるものをつけていただくか、変換の具体的なイメージを伝えていただければ1回で間違いのない変換ができます。

添付資料 : 入稿MS-Wordでのトラブル事例と対応策

トラブル事例:

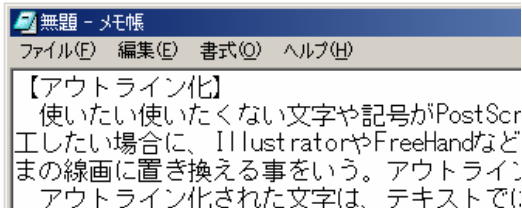
Wordデータをテキスト変換して、組版したら「変更履歴」が現れて元の原稿と違ってしまった。

Word 2002には「前回データとの差異をメモ書きのように表示する校閲機能」があり、そのまま「別名保存」「書式なし(テキスト)」で変換すると、そのメモ書きも書き出されてしまうことがあります。

【アウトライン化】

使いたい使いたくない文字や記号が PostScript

したい場合に、Illustrator
線画に置き換える事をいう
アウトライン化された文
と TrueType 形式のフォ
出ている PostScript 系フ
QuarkXPaced 011111 InD



著者支給のWordデータでUnicode文字が使用され、校正回
転はWindows 2000環境で行ったため問題が顕在化せず、
印刷用の最終出力で欠落。

Windows XP/2000以降のWordでは意識せずにUnicode
文字が使用されているケースがあります。同じバー
ジョンのOSであれば問題ありませんが、95や98などの
古いバージョンですとUnicodeが表示されず、テキスト
に変換した際“????”や消失といった結果になります。

Wordのテキスト保存でルビなどの装飾文字が消失。

Word上で施したルビやイタリックなどの装飾情報はテ
キスト保存したときには含まれません。

トラブル対応:

履歴データを出さないために

履歴の隠しデータを に置換してからリッチテ
キストコンバータで変換。

Word 2002では、「表示」「ツール」
「チェックコメント」で「変更承諾」のツール
バーを出し、「ドキュメント内の全ての変更を反映
する」をクリックすれば、「変更履歴」は除去
されますので、このような方法も有効です。

XPなどの新しいバージョンでは設定の変更によ
り解決されます。

Unicodeには地道な対応

ゲタで出るようにリッチテキストコンバータで
テキスト変換、ゲタ部分と原稿を合わせ入力しま
す。

ルビも活かす

Wordに「欠陥解決モジュール」(フリーソフト)
をインストールし、特殊機能バーにある「ルビ脇
文字」を使用して、親文字の後に出現させます。
イタリックは前後にタグを入れます。



添付資料 : MS-OFFICE系のデータはRGBですので注意が必要です

モノクロで使用する図がカラーで支給されてきたので変換して使ってほしい

気をつけよう「Word・PowerPoint」の支給データ

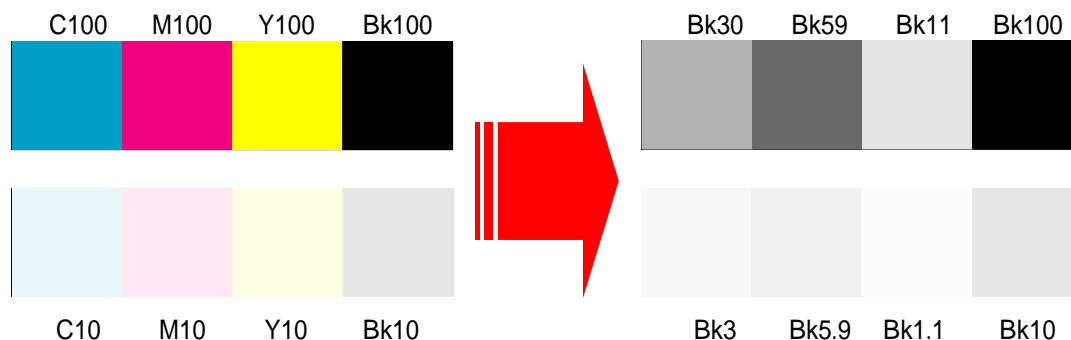
WordやPowerPointなどRGBがベースになったデータは、墨1色の部分もCMYK 4版作成されてしまいます。

墨1色の部分を分版しないように変換しなおして使用します。

きれいに色分けされたデータほど、モノクロにするとわかりにくくなってしまいます。

モノクロでプリントアウト又は、カラー原稿をモノクロでコピーして確認するとイメージがつかめます。

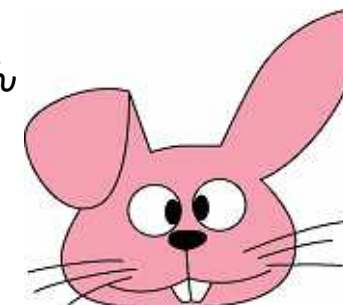
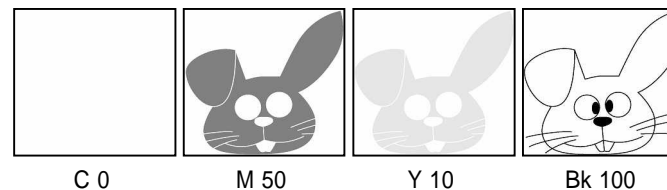
試しにIllustrator上で、プロセスカラーをそれぞれグレースケールに変換してみると...



2色データのように見える4色データもあり

手描きの線画イラストをスキャンして色部分を特色にしたい時、ついデータも特色で作ってしまいがち。しかし実際は、特色の色に近い4色の掛け合わせのデータになっている事がほとんどです。特色の指定は違った設定が必要なのです。

一見2色のウサギは、ピンクがマゼンタ50%とイエロー10%の掛けあわせ、線画部分が墨100です。これをMとKの2版で印刷しますと、イメージよりアミが不足したものになってしまいます。



添付資料 :

データの拡張子とファイルの開き方について

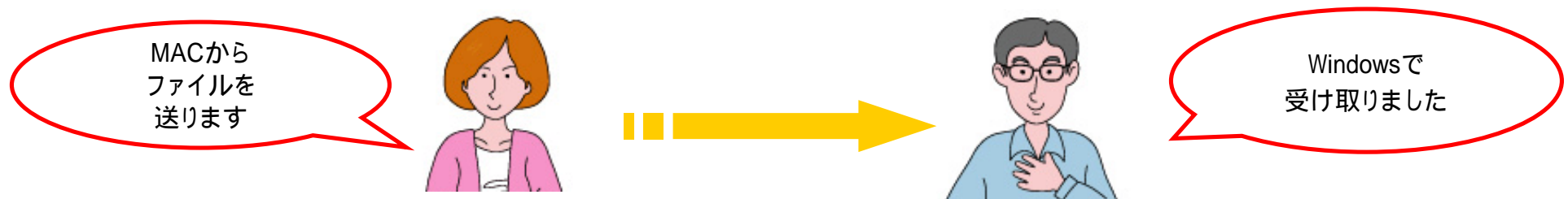
拡張子	種別	必要なソフト	機種	テキスト・画像としての使用の可否	注意
.txt	シンプルなテキスト		W M	テキスト： 画像：×	
.doc	WORD のデータ	WORD	W	テキスト： 画像：	
.docx	WORD2007 のデータ	WORD2007	W	テキスト： 画像：	文字コードに注意
.xls	Excel のデータ	Excel	W	テキスト： 画像：	
.xlsx	Excel2007 のデータ	Excel2007	W	テキスト： 画像：	文字コードに注意
.ppt	PowerPoint のデータ	PowerPoint	W	テキスト： 画像：	
.pptx	PowerPoint2007 のデータ	PowerPoint2007	W	テキスト： 画像：	文字コードに注意
.eps	画像もしくは図版	Photoshop 又は Illustrator	W M	テキスト：× 画像：	フォントとバージョンに注意
.ps	ポストスクリプトファイル	Photoshop 又は Illustrator	W M	テキスト：× 画像：	出力用のファイルの場合が多い
.jpg	画像		W M	テキスト：× 画像：	
.bmp	画像		W	テキスト：× 画像：	
.psd	Photoshop データ	Photoshop	W M	テキスト：× 画像：	
.tif(.tiff)	画像		W	テキスト：× 画像：	
.ai	Illustrator データ	Illustrator	W M	テキスト： 画像：	フォントとバージョンに注意
.indd	InDesign データ	InDesign	W M	テキスト： 画像：	フォントとバージョンに注意
.qxd	QXPress データ	QXPress	M	テキスト： 画像：	フォントとバージョンに注意
.jtd	一太郎データ	一太郎	W	テキスト： 画像：	
.pdf	PDF データ	Acrobat リーダー	W M	テキスト： 画像：	
.xml	タグ付きテキスト	IFT 又は WORD	W	テキスト： 画像：×	
.html	タグ付きテキスト	IFT 又は WORD	W	テキスト： 画像：×	
.sit	圧縮	Stuffit	M	?	Windows で開くとファイル名が化けることが有
.zip	圧縮		W M	?	
.lzh	圧縮	LHMELT など	W	?	
.exe	アプリケーションの実行ファイル		W M	?	ウイルスの可能性もあるので、安全が確認できないうちは開かない
.tex	TeX ファイル	TeX	W	テキスト： 画像：×	
.sty	スタイルファイル	TeX	W	テキスト：× 画像：×	
.dvi	コンパイル済 TeX ファイル	dviout	W	テキスト：× 画像：×	
.dat	データファイル		W M	?	何のアプリケーションで作成された物か不明な時についていることが多い

添付資料 - 1:メールでのデータ入稿上の注意点

メールは便利だけど、トラブルも多い

添付されてきたファイルが開けない

メールに添付されてきたファイルが開けない場合があります。一番多くその症状に遭遇するのは、デザイナー又は著者の方からのメールを編集の方が受け取って印刷会社に転送されてくる場合です。これはほとんどの場合、



というように、違う機種の間をメールが移動した際におこります。

MACではファイルを**ファイルタイプ**と**クリエイター**で管理しており、Windowsでは**拡張子**で管理しています。従って、拡張子のないファイルをWindowsで受け取ると、ファイルの形式が判断できず開くことができなくなります。又、OSによってファイル名として使用できる文字数に違いがあったり、使用できない文字があります。メールにファイルを添付する際には、

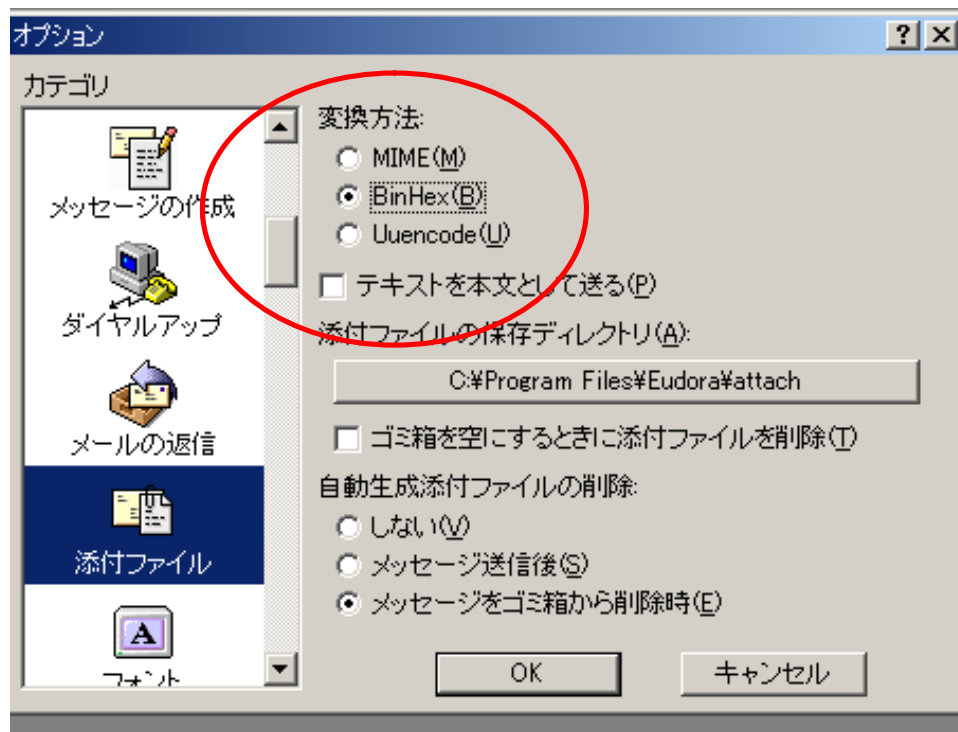
- ・ファイルを圧縮する
- ・拡張子をつける
- ・ファイル名は半角英数で8文字以内 (Windowsでは / や * など使用できない文字があります)
- ・メール本文中にアプリケーション名とバージョンを記入する

などに注意しましょう。

添付資料 - 3:メールでのデータ入稿上の注意点

本文の全体が文字化けしている場合(2)

添付ファイルが化けているパターン 実はメールでは**バイナリファイル**を送ることができません。メールにバイナリファイルを添付して送る際にはメールソフトがファイルをテキストに変換する**エンコード**という作業をしてから送信しています。エンコードの仕方にはいくつか種類がありますが、受信するメールソフトがその方式に対応していなかったり、どの方式でエンコードされたのかを示す情報が間違っていると、**デコード**という元に戻す処理がうまくいかなくなり文字化けメールのようになってしまいます。



【バイナリファイル】binar yfile

ファイルのうち、テキストファイル(文字コードだけで構成されているファイル)以外のもの。DTPソフトで作ったドキュメントファイルや画像ファイルなど。バイナリとは、2進数(0と1)のこと。

【エンコード】encode

インターネットの電子メールではテキストデータのみしか扱えない。そのため、バイナリデータを送信するには、いったんテキストデータに変換する必要がある。この作業をエンコードという。規格には、UUencode、BinHex等がある。

【デコード】decode

エンコードによってテキストに変換されたデータを、元のバイナリデータに戻すこと。

【ファイルタイプ】file type

ファイルのデータ形式を示す情報。TEXTやPICTといった、ファイルのフォーマットを示す4文字のアルファベットで表現されている。ソフトウェアが読み込めるフォーマットを調べるために使われる。

【クリエイター】creator

アプリケーションを示す情報。4文字の数字やアルファベットで表現されている。